

ESA 発信トラフィック リレーの設定例

目次

[はじめに](#)

[設定](#)

[私用リスナー](#)

[公共リスナー](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の送信 トラフィックを中継で送る方法を記述されています。

設定

ESA GUI は送信リレーを設定するためにホストする便利なインターフェイスを提供します。メール **Policies** タブをクリックし、**帽子概要**メニュー項目にナビゲートすればホスト アクセス表 (帽子) のリレー ホストを設定できます。標準の設定では、私用リスナー上のシステムからのホスト リレー。また公共リスナーに中継で送ることを選択できます。各ケースで、そのリスナー用の送信側グループを表示するためにリスナー ドロップダウン メニューから適切なリスナーを選択して下さい。

私用リスナー

1. 私用リスナーが設定されるとき、この送信側グループを編集するために RelayList ハイパーリンクをクリックして下さい。
2. Group ページ編集送信側から IP アドレスによって RelayList 送信側グループに送信側を、IP 範囲、ホストまたはドメイン名、SenderBase 評判スコア、または DNS リスト追加できます。
3. RelayList にホストを追加したら、そのホストは ESA によってメールを中継で送ることができます。

公共リスナー

公共リスナー、RelayList SenderGroup またはメール フロー ポリシー 存在によって中継で送らない時。従って、手動でそれらを追加して下さい。

手動で送信側グループを追加するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. メール フロー ポリシーの下で、**ポリシー**を『Add』 をクリックして下さい。
2. 名前をポリシーに割り当て、接続動作ドロップダウン メニューから**リレー**を選択して下さい。
3. [Submit] をクリックし、変更を確定します。
4. ドロップダウン メニューからリスナーを選択した後、帽子概要に行き、**送信側グループ**を『Add』 をクリックして下さい。
5. 送信側グループの名前を入力した後、ポリシー ドロップダウン メニューから最近追加したメール フローを選択して下さい。
6. **送信側**を『SUBMIT』 をクリックし、最初リレー ホストを追加するために追加して下さい。

確認

findevent IP アドレスのための mail_logs または**グレップ**または**末尾**でのホストの確認、または使用はにメッセージからの、メッセージID、サブジェクト、またはメッセージによって検索するためにリレー ホストを保証するために予想通り設定されます。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。